

第9回 亘理町教育委員会定例会会議録

令和4年11月25日午後3時00分、亘理町教育委員会定例会は、亘理町教育委員会 教育長室に招集された。

1 出席委員

奥野光正 教育長、
富田栄子 職務代行者、菊池芳晴 委員、金子高幸 委員、中山美知子 委員

2 欠席委員

なし

3 説明のため出席した職員の職氏名

南條守一 教育次長、太田 教育総務課長、片岡 生涯学習課長

4 書記として出席した職員の職氏名

平塚和明 教育総務課教育総務班長

5 会議に付した事件

議案第1号 令和4年度亘理町一般会計補正予算（第7号）（教育費関係）に対する意見について

議案第2号 亘理町立学校の学校運営協議会委員の任命について

議案第3号 亘理町立小中学校の学校医の委嘱について

6 前回委員会会議録の承認

奥野教育長

過半数の委員の出席をもって本委員会は成立、午後2時57分開会を宣し、直ちに会議を開く旨を告げた。

第8回亘理町教育委員会定例会会議録については、事前に送付していたことから、同会議録の質疑及び異議の有無について各委員に諮ったところ、全委員質疑及び異議なく、第8回亘理町教育委員会定例会会議録を承認した。

7 会議録署名委員の指名、議事日程

奥野教育長

規定により会議録署名委員を教育長から指名する旨を告げ、富田栄子 代行及び金子高幸 委員を指名した。

今回の議事日程について、配付のとおりなので確認するよう告げた。

8 教育長報告

奥野教育長

下記の事項について、資料に基づき報告した。

1.会議及び事業等報告について

2.会議等の予定について

3.その他

教育長報告について、その他、質疑等がないか各委員に諮ったところ、各委員質疑等なく教育長報告を承認した。

9 教育総務課長報告

太田教育総務課長

下記の事項について、資料に基づき報告した。

1. 事業報告（10月26日～11月25日）について

2. 事業予定（11月28日～12月23日）について

奥野教育長

教育総務課長報告について、その他、質疑等がないか各委員に諮ったところ、各委員質疑等なく教育総務課長報告を承認した。

10 生涯学習課長報告

片岡生涯学習課長

下記の事項について、資料に基づき報告した。

1.事業報告（10月28日～11月25日）について

奥野教育長

生涯学習課長報告について、その他、質疑等がないか各委員に諮ったところ、各委員質疑等なく生涯学習課長報告を承認した。

11 議事

奥野教育長

議案第1号令和4年度亘理町一般会計補正予算（第7号）（教育費関係）に対する意見について上程。

議案の朗読を含め、教育総務課長及び生涯学習課長に説明を指示。

太田教育総務課長

議案第1号令和4年度亘理町一般会計補正予算（第7号）（教育費関係）に対する意見について説明。

●歳出

人件費の補正の算出は総務課で行っているので省略する。

小学校の施設管理経費について、灯油代、電気代が高騰したため燃料光熱水費6,957千円を計上。

備品購入費について、長瀬小学校への寄付金200千円を受け、図書購入費として200千円を計上。

中学校の施設管理経費について、灯油代、電気代が高騰したため燃料光熱水費4,069千円を計上。

修繕料について、体育館施設の鍵の交換、トイレの配管修繕のため1,563千円を計上。

中学校教育振興事務経費について、中学校の部活動に対し県大会以上に出場する場合の補助金（各種大会等参加助成金）。当初予算1,500千円を計上していたが、不足が生じたため382千円を計上。

学校給食センター管理費について、給食センターボイラー施設の修繕を行うため修繕料972千円を計上。

小学校災害復旧費、中学校災害復旧費について、本年3月に発生した福島沖を震源とする地震により被災した小中学校の災害復旧工事を行うため、小学校（高屋小学校、吉田小学校、逢隈小学校の3校）3,683千円を計上。

中学校（巨理中学校、荒浜中学校の2校）5,440千円を計上。

●歳入

公立学校施設災害復旧費負担金について、災害復旧工事を行うにあたって国庫からの負担金として4,438千円を計上。

一般寄附金について、株式会社渡辺工務店より長瀬小学校への寄付を受けた200千円を計上。

公立学校施設災害復旧事業債について、災害復旧工事事業費から国庫負担金を除いた町負担分を借り入れする2,100千円を計上。

●歳出

働く婦人の家管理経費について、事務室内にある非常放送設備が故障したため基板の交換が必要となる。137,500円の修繕費用となるが、予算残額39,400円があり、差し引き99,000円を計上。

中央公民館経費について、現在設置してあるAEDは、あぶくま信用金庫から寄贈されたもので、耐用年数が過ぎたためAED1台購入するもの。購入・リースを比較した結果、購入した方が安価になることから備品購入

片岡生涯学習課長

費として272千円を計上。

文化財保護事業費については、歳入で説明する。

図書館郷土資料館管理費について、電気代が高騰したため燃料光熱水費1,741千円を計上。

●歳入

企業版ふるさと納税寄附金として10,000千円を計上。民間提案制度で亘理町の文化財公開型活用型システム構築業務提案を採択し、提案した企業は岩手県の一関市に本社がある株式会社一測設計。この提案の中で企業版ふるさと納税をしたのは、松島町に本社があるランドワーク株式会社。一測設計とはグループ企業であり、寄付10,000千円を受けた。文化財の民間提案制度の文化財公開型活用型システムの構築を行う。今年度から3カ年で合計30,000千円を元手に事業を進めていく。事業全体として約35,000千円規模の事業で、今年度は10,000千円のうち6,000千円分を予算化し、主に冬季の三十三間堂の空撮を行う。今後は三十三間堂に限らず、亘理町の文化財を広く知ってもらうため空撮等を行いデータ化し、ホームページに新たなコンテンツとして立ち上げ、町全体の観光PR及び子ども達の生涯学習等に活用。10,000千円のうち残り4,000千円については、まち・ひと・しごと創生推進基金に積立て、次年度以降も企業版ふるさと納税を活用し、継続して事業を行う。

奥野教育長

今年度は三十三間堂を空撮するが、今後は他の文化財も事業化していくのか。

片岡生涯学習課長

基本的な考え方としては、町の文化財を様々な方向から撮影し、例えば大雄寺にある御霊屋を一周して裏側も見られるようにするなど考えている。また、VRではなくパソコンでいろいろな角度から見られるようにし、町のホームページで公開する。

金子高幸委員

この話は、ランドワーク株式会社が提案をして事業資金を出資し、町の文化財を広く様々な方に公開できるようなものをしてはどうかという話なのか。

片岡生涯学習課長

一測設計が提案をして、グループ会社であるランドワーク株式会社が企業版ふるさと納税で寄付し事業を行う形になる。町として提案されたことを採用することになり11月22日に寄附贈呈式を行った。

中山美知子委員

生涯学習課で受け取るということは、観光PRの中心となるのは文化財になるのか。

片岡生涯学習課長
中山美知子委員
片岡生涯学習課長

町に様々な文化財があるので、文化財をPRしながら観光に繋げる形。
児童生徒の教材として使えるのか。

三十三間堂の出前授業、これから戊辰戦争関係の授業を行い、その中でも
データを活用しながら授業展開できるのではないかと文化財班では考えて
いる。

中山美知子委員
片岡生涯学習課長

民地にある文化財などはどうするのか。

まず、三十三間堂については問題なし。今後は民地にある文化財は協議を
していく。令和5年度から令和7年度までの継続事業になるので、その都度
協議しながら進めて行く。

菊池芳晴委員

この機会を活かして町の文化財をPRして関心を持ってもらいたいと思う
し、昔からあるものを時間を掛けて見て見ると素晴らしい。今後はこの事業
で様々な文化財を空撮するという事で、文化財に関心が向くようになるの
ではないか。

奥野教育長

質疑等ないか諮ったところ、質疑等なく異議ないものを認め、議案第1号
を原案のとおり決定した。

議案第2号及び議案第3号については、人事に関することなので秘密会と
して審議してよいか諮ったところ、各委員異議なく秘密会とすることに承認
した。

議案第1号及び議案第2号を終了したので、秘密会を解く旨を告げた。

12 次回教育委員会の開催日程について

奥野教育長

次回は定例会とし、令和4年12月23日（金）午後3時から開会する。

13 閉 会 午後3時50分

上記会議の次第を記録し、ここに署名する。

令和4年12月23日

署名委員

署名委員